

今工会報

第39号

発行所

今工会事務局

番号557-0024

大阪市西成区出城1-1-6

大阪府立今宮工科高校内

電話 06(6631)0055~7番

編集発行人 吉田信夫

「戦前」職工学校・工業学校時代の校舎



現在の校舎



いよいよ明年は今工100周年

みなさんと祝い、さらなる母校と今工会の発展を！！

・・・会員のみなさんのご協力を・・・

今工会会員の皆さんにおかれましてはお元気でご活躍のこと、また身体をいたわり老後を楽しんでおられることと存じます。

明年は、わが母校「今宮工科高等学校」は創立100周年を迎えることになりました。大正3年に府立職工学校分校として創立以来、今宮職工学校、今宮工業学校、今宮工科高等学校、そして今宮工科高等学校と改称され現在に至っておりますが、母校の名前が変わっても、「今工」の卒業生として一丸となってここまでやって参りました。これまで、今工会と母校の発展のためご協力賜り本当にありがとうございます。

学校創立100周年記念実行委員会もスタートし、学校当局、PTA・保護者会の皆さん、今工会の代表が集まり、記念事業の内容（記念式典、レセプション、記念誌など）、募金活動など種々検討が重ねられています。

今工会としましても、役員を中心に常任理事の方々、理事の方々の協力を得て100周年を祝うため最大限頑張りたいと思います。100周年を有意義なものとし、新しい時代への出発にしたいと念願しています。

現在の社会情勢、経済環境も少しあるさが見えてきたとはいえ、まだまだ厳しい情勢ではありますが、100周年成功のため「100周年事業基金」に会員の皆さんの絶大なるご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今工会会長
峯山 昭範



創立100周年行記念事業基金へのお願い

別紙趣意書にもとづいて、記念事業基金の募集をお願いすることになりました。

ぜひ、母校今工の創立100周年記念行事が成功しますようご協力お願い申し上げます。

ご協力いただきました方々には、記念誌を送らせていただきます。

現在のところ、実行委員会で

100周年記念式典・祝賀会を
2014年11月3日(月)・文化の日

記念式典：大阪国際会議場

祝賀会：リーガロイヤルホテル

共に京阪電車「中之島駅」下車3分

で予定されています。

「創立100周年を祝い・未来へ」

学校長 高嶋 保



今工会会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、本校の教育活動の充実・発展に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本校は来年、創立100周年という大きな佳節を迎えます。現在、お忙しい中、今工会会長峯山昭範氏に委員長を引受けていただき、実行委員会を立ち上げました。今工会、PTA、学校の三者で準備を始めています。どうぞ、その節にはよろしくお願ひ申し上げます。

多くの先輩方が築いてこられた100年という誇りと伝統を胸に、新しいことにも果敢にチャレンジして更なる飛躍を遂げようと考えています。現在本校は、「『夢創造』の教育力と確かな進路実現力を持つ、リーディング工科高校」を目指して教職員一同、日々研鑽を積んで専門教育に取り組んでいます。「夢創造」は、生徒の夢を育み、生徒が夢に向かって歩みだせる教育を進めようと考え大切にしてきたテーマです。そして、確かな進路実現を約束する専門高校として、大阪のリーディング工科高校をめざしていきたいと考えています。

いま生徒たちは、国家資格取得や部活動に励み、輝かしい成果を出しています。第2種電気工事士合格率は全国ランクでも上位に入っています。機械系技能士3級・2級に多数の生徒が合格をいたしました。ものづくりコンテスト大阪大会優勝や、運動部では全国大会や近畿大会への出場が決まったクラブも出ています。中でも日本拳法部は個人で全国優勝、準優勝を果たしています。

こうした取組みや成果が認められて本校は平成24年度大阪府教育委員会より「がんばった学校」に選ばれています。また、地域産業との連携によるインター

シップや企業実習に参加する生徒も多く、このことは生徒に将来を見据えた豊かな職業観や勤労観が醸成されていくものと確信しています。

さらに、本校で学んだ専門知識を深めるべく大学への進学希望生徒が増加しています。こうした生徒たちのために進学のための科目選択や土曜日を活用した補習講習が盛況です。お陰様で昨今の経済不況にありましても、今工生は就職、進学ともに全員が進路を決めて卒業しています。こうした今工生の活躍は多くの先輩方が、産業界、行政、教育界などで中核となって活躍されておられることが、現役生に大きな励みとなっているものと思います。

さらに、本校は、平成26年度入学生からより高度な専門性を持ったエンジニアを育成するため新しく「工学系・大学進学専科」クラスを開設することになりました。このクラスの開設により本校は、大学との連携をより深めて先端技術等を生徒たちに学ばせ、専門性の高い有能なエンジニアに育てていきたいと考えています。

グローバル化が進んだ現代社会の厳しさは言うまでもありませんが、生徒たちが今工で培った「ものづくり精神」とともに夢や希望を忘れず、校歌にあります「堅忍不拔」の精神でもって厳しい現実に果敢に挑戦していく姿勢を身に付けてくれることを切に願っています。

最後に、今工会のますますのご発展を祈念いたしますとともに、今後ともに本校へのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

母校の思い出



インタビュー1**思い出多き今工**

石田 義夫氏 高級機械21年卒・今工会顧問・元今工機械科教諭

現在、今工会館一階に移った資料室を模様替えしていますが、懐かしい写真を見ながら、インタビューさせていただきました。

「身長133cmの超小柄、普通中学にいくつもりが、戦争が激しくなり、親がこれからは工業が必要、今工への入学を薦め今工へ。

精密機械科が補欠で鋳工科へ入学したものの、2年から藤永田造船へ勤労動員。今工の生徒だけはすぐに現場へ、「今職」の名が轟いていたのか「何でもできる」と思われ何も教えてもらえない。しかし学校では経験できない鋼鉄物の鋳造など実践的に多くの事を学んだことになった。」と当時の思いが次々と。

勤労動員の現場で「玉音放送」。そのとき貴重なトコロテンの配給があり、その当番で皆に配るため分けていた。何の放送ですかと聞くと、それの方が大事と放送は何も聞いていなかった。あとで「日本が負けた」と知る。

1学年の正月・鋳物砂でお鏡を造る
左から3番目が私



学校へ戻っても授業もなくできなかった。教師が物資を欲しいままにしていると工場の屋上で集会、同盟休校したことも思い出の一つ。先輩から学校を汚したと怒られる。

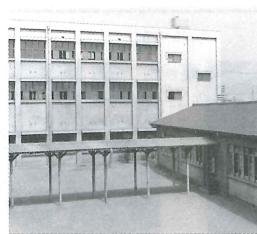
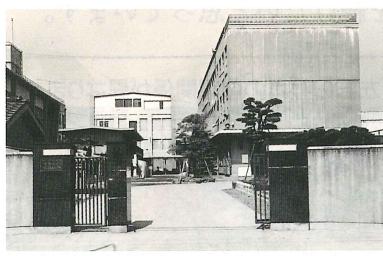
卒業しても就職先もなく、仲間4人と探しに行き、鶴橋の鋳物工場などで何日か働く。勉強しなければと関大2部経済学部へ、そのとき恩師の堀信夫先生から今工へ来いと実習助手で勤めることに。身体を壊して大学はやめ、長く実習助手で苦労、その後府の認定講習を受け教諭に。

ソフトボールがアメリカから入ってきて、堀先生が講習を受け、お前やれとソフトボールを。顧問をしていたことから高体連の理事、審判1種、万博の年の世界選手権では組織委員を。女子の初めての国際試合にもかかわり、国体、インターハイなど審判で根性がつき、いろいろな面で勉強させてもらった。府立高校教職員の大会でも優勝し、一般の試合にも出たことが。

生活指導を担当して、さまざまな体験をしたともいまではいい思い出に。また機会あれば。



実習棟



家庭科教室棟



教養棟

インタビュー2**アマチュア野球の審判を33年**

中西 明 氏 電気27年卒

藤井寺の静かな住宅街のお宅を訪問し、お話を聞かせていただきました。

「昭和21年旧制で入学、27年新制高校で卒業、6年間今工に。中学生のときはグローブがなかったので、高校生になってから野球部に入りました。当時は校庭も狭く、周囲は煉瓦屑の空地。昼休みのソフトボール場を確保するのに、早弁をして競い合う状態でした。

野球部の成績は、3年のときに、6年間在籍していた選手らが中心となって活躍、ベスト16まで進出しました。

卒業前のある日、野球部長の岡田先生（当時大阪府高校野球連盟理事長）に3人が呼ばれ、“これまで先輩にお世話になったんだから今度は君らが恩返しの番だ”と言われ大阪府高野連の審判をやることになりました。

就職は姉の元勤務先だった酒井鉄工所の電気係。朝8時から夜の残業まで仕事、仕事の連続でしたので、自分の時間を取り戻すために大阪工大専門学院（夜）へ入りました。

そして昭和27年秋、同級生だった親友の誘いで現在のNTTを受験。以来、54歳まで、13回の転勤を重ねながら“仕事”と“野球”的2兎を追いかけることになります。家族・女房は不満だったでしょう。



大阪府の審判の7年目にその努力が高野連の方々の目に止まり、甲子園の檜舞台へ出ることになりました。その時に決心したことは2つ。家族には迷惑を掛けるかも知れないが、1つは仕事から手を抜かないこと。2つ目は校庭や観客のいない1年生の試合でも手を抜かないことでした。そしてその姿勢に気付いてくれた後輩審判員がいたことが逆にまた私の励みになりました。

甲子園での審判は、春のセンバツ、夏の選手権と26年および、数々の緊張と感動を直接味わえたことは大きな宝です。

54歳の時にNTT内部の転勤と関連会社への転職、併せて日本高野連事務局入りの話が同時に起こり、一番断り難い道を選んだのですが、今度は大会を支える裏方の苦労や、全国の地方事情など随分勉強になりました。

野球連盟を60歳で定年退職した後、本来の電気技術や資格を生かせる仕事として、奈良国立博物館の設備メンテナンスを担当しましたが、本来、仏像が好きだった私にはラッキーな職場でした。そして4年後に解説ボランティアの募集があって応募。今まで16年間この活動は続いています。

もう一つ。アンティークオルゴールの演奏を現地へ出向いて提供するというボランティア活動をしていますが、これは19年前に急死した女房への供養だと思っています。夫婦一緒に感動したあの音色でお聴きになっている子供さんや高齢者の方、障害者の方々にひとときの癒すらぎや想い出を持っていただき、演奏している私自身も愉しさを貢っています。身体の動くかぎりこの活動を続けたいと思っています。



北



西

東

昭和40年頃

西



南

平成14年頃

北

東